

# 服の値段が高けりや、おしやれって もんでもない。

## ワンポイント・リッチで楽 しむのが、本当のおしやれ なんです。

たかのてるみ

フリー・エディター  
出版 芸者

女心と秋の空。

なんて言いますが、女と秋が一緒になるとやっぱりおしやれの話題になりそうなんです。

最近、日本女性も欧米並みにおしやれが上手になったと言われますが、どうもやっぱりかなりの差があり、同じ水準に達するまでには、まだ、それなりの時間を要す、という感じがするのです。

というのは、お金さえ出せば、世界的に有名なデザイナーの服も手に入るし、大型スーパーでも、安価で気軽に、気のきいた服が並べられ、選ぶにはこと欠かないわけですが、いわゆる本当に自分に似合う着こなしとか、自分らしさの演出の方法になると、欧米人のようにはウマくいっていない、というのが事実のようです。例えば子どものPTAに集まるお母さんたちが、全員何となく同じスタイ

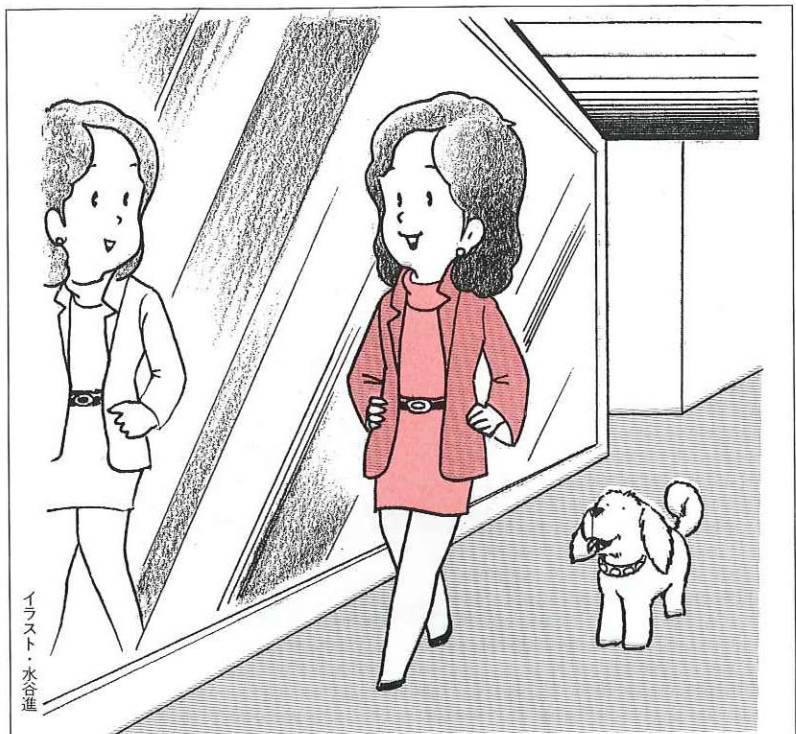
ルをして見えるのも、きつと、買ったままの

服を、そのまま着ているだけだからでしょう。本当のおしやれというのは、コーディネートトの妙。つまり、服そのものの上に組み合わせるアクセサリーとかスカーフにまで気が回ってこそ、おしやれました、と言えるのではないのでしょうか。

スカーフ、アクセサリーには少しお金をかけて損はない。

例えば、柄もの、花柄だとかのプリントものなどは、生地そのものが華やかでキレイだから、女たるもの、すぐ手が伸びてしまがちです。でも、シンプルな無地のワンピースなんかを選んでおいて、首に巻いたり、肩にはおったり、腰に巻いたり、スカーフの柄の方で、派手な配色やら、華やかなプリントを楽しむようにする方が、あかぬけて見える

# レディーズ サロン



イラスト・水谷進

道行く自分を何度も見て、認識することが、おしやれの上達の第一歩です

アクセサリーは材質が本物の金とか銀だと時間が経つほどに味わいが出て来るし、スカーフ同様、服を何倍にも引き立てるのです。

そういう場合にも、服は出来るだけシンプルで、シックなものの方が、全体的に考えると品良く、美しく見せるための、効果が大きいと言えます。ほら、顔にも、メイクをして

色づけをしますから、服そのものがゴテゴテとした色、形だと、完全に顔立ちとケンカしたりするわけなんです。本当に顔を引き立てたいならば、シンプルで、地味目の服の方がいいのです。一度試してみてください。自分自身をもう一度よく見つめ、ちよつと勇氣を出して。

ものです。

バーゲンを狙って、服は少々安めのものを手に入れたとしても、組み合わせるスカーフは思い切った絹にしてしまう。これでも、結構、上等のおしやれを楽しむことが出来るのです。同じ絹でも、スカーフの大きさなんてタカが知れていますから、せいぜい、5〜7000円出せばステキなのが買えるでしょう。ぜいたくかしら、と思っても、この絹のスカーフの肌ざわりはこたえられませんか。ポリエステルとか、混紡のものとは感触がまるで違いますから、肌につけて、快ちよいことこのうえない。そして一枚あれば、例えば白に黒い水玉とか、ストライプなどのような、シンプルで、オーソドックスな模様のものを選び、ほとんどの手持ちの服に合わせる事が出来て、これがまた、服をグンと引き立てるってワケなのです。

アクセサリーも、しかり。プレスレット、ネックレス、イヤリング、指輪、ベルトなどこそ、へそくりしても、少々上等のものを買ってしましましょう。これはもう、一生使えるわけで、こういう小物類だけは、安物を買ったと、まさしく、メッキがはげる、すぐ飽きたり、壊れてしまったり、また、安かったせいか、雑に扱い、すぐに失くなったたりもするから不思議です。

そういう、さりげないおしやれってのは、自分自身をよく知ることにより、効果的に生かされて行くものです。

太っている、痩せているということは誰しも分かるけれど、肩を丸めて歩く、表情が暗い、後姿が老けているなんてことには、意外に注意を払わないもの。もう少し、自分を自己分析して、よりよい姿勢、よりよい表情を見つけて出し、いつもそういう自分であるように気を配ってみましょう。

何しろ日本人の場合は、どんなにおしやれしたって、部屋の中では靴を脱ぐから、全体のバランスがくずれてしまい、完全なおしやれが身につけにくい、そんなハンデイがあるわけです。せいぜい外に出て、ショーウィンドウにでも、道行く自分を写し出し、現実の自分を、何度も見て、認識することがおしやれの上達の第一歩でもあります。毎日のお買物も、そうなる結構楽しく行けるようになりますよ。

口さがない近所の奥様たちや、もう、ほとんど口うるさい家族たちの非難、そしりがあるうとも、やってみなければ上達しないのがおしやれ。

この秋、違う自分を発見してみるのも、よいと思います。